

情報提供日	令和5年(2023年)8月10日(木)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 中原、富澤 栽培・展示課 山本、泉川 TEL 082-922-3600

江戸時代の園芸文化を今に伝える 変化朝顔展

広島市植物公園では、昭和57年(約40年前)から「変化朝顔」の栽培・展示を続けており、国内でも有数の展示実績があります。当園では、その多彩な花を楽しんでいただくとともに、突然変異により生じた貴重な変化朝顔を保存しています。

開催期間：8月19日(土)～8月27日(日)(金曜休園)

協力：広島あさがお研究会

展示場所：広島市植物公園 展示温室

臨時売店：あり(期間中毎日10時～15時)

出点数：約200点

詳細：広島市民の有志で構成された「広島あさがお研究会」の会員が交配育種して育てた変化朝顔や朝顔にまつわる作品等を出品します。

【関連イベント】

変化朝顔展解説

開催日：8月20日(日)10時～11時

場所：展示資料館2階講堂(先着100名)

内容：当園職員が変化朝顔展の解説を行います。

変化朝顔とは？

変化朝顔は、珍しいもの好きだった江戸時代の人たちが発展させた園芸植物です。

糸のような葉、多肉植物のような姿、撫子(なでしこ)のような花、八重咲の花、朝顔と思えない珍しいものがあり、これらはみな突然変異による変異株です。変異株は種子が採れないことが多く、系統維持をするには遺伝学的な知識がないと難しいのですが、驚くことに現在の様に遺伝学が発達していなかった江戸時代でも、人々は長年の経験によって様々な変化朝顔を栽培し続けていました。



様々な変化朝顔



▲昨年の展示の様子



▲昨年の臨時売店(種子販売)の様子

* 朝顔は朝咲く植物のため、午前中の観賞をおすすめします。また、写真のアサガオは昨年展示したものです。今年も同じ花が見られるとは限りません。

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日